



ippo(いっぽ)

【研究主題】 キャリア教育の視点で小・中・高を貫く教育課程の編成
～学部間をつなぐ仕組みを活かした取組～

「キャリア教育における目指す姿」(キャリア教育全体計画より)について

今年度の研究を通して、「キャリア教育における目指す姿」(*キャリア教育全体計画より抜粋)の下位項目が改訂されました。これは、ワーキンググループによる年間指導計画の検討や授業実践、外部協力者からの意見、現場実習の評価等を基に整理し直したものを、さらに各研究組織で検討、確認をして完成したものです。本計画は、職員一人一人の声が生かされて作成されたものですので、より実践的と言えるものになったと考えています。

下位項目については、児童生徒の視点で書かれたものもあれば、職員の立場で書かれたものもあり、表現上の課題はありますが、『授業に結び付けやすい具体的な表記』になるよう配慮しました。

改訂された本計画は、来年度の小・中・高を貫く教育課程編成の基盤となりますが、今これからの授業づくりをする上でも、ぜひ活用をしてみてください。

() の数字は、児童生徒の具体的な姿を、
○の数字は、授業で大事にしたい内容を表す。

() や○の数字は、項目を示す記号であり、優先順位や各学部間の系統性を示すものではない。

キャリア教育における目指す姿			
編み	小学部 (低学年/高学年)	中学部	高等部
1	好きなことや得意なことをたくさん見付け、興味関心を広げるとともに、活動に夢中で取り組みながら意欲的に学校生活を営む。 (1) <u>学校生活と活動への意欲</u> を高める。 ① 今ある興味関心(好きなこと)を基にした題材設定 ② 自発性の尊重 (2) <u>安心して活動に取り組む</u> 。 ① 自分のアクションで分かりやすい結果が得られる活動へ、さらに一人ひとりで段階を踏んだ展開 ② 繰り返しの見通し ③ イメージを広げる本物体験	手掛かりを頼りにしながら自ら考える習慣を身に付け、自己選択・自己決定し、その達成に向けて前向きに努力する。 (1) <u>目標に向かって前向きに努力する気持ち</u> をもつ。 ① 単元(活動)のゴールの明確化による意欲の喚起 ② 自らの課題を主体的に解決しようとする機会の設定 ③ 失敗も含めた経験から学び、具体的な対策を考える活動 (2) <u>自分で考え、判断する習慣を身に付ける</u> 。 ① 手掛かりの段階的な提示 ② 意見を受け止める関わり ③ 試行錯誤しながら目的を達成する状況づくり	自分の将来像について考え、進んで物事に挑戦する。 (1) <u>卒業後の自分をイメージし、目標の達成に向けた行動を日常的に実践する</u> 。 ① 進路相談や進路面談による、進路希望の実現化に向けた考えの整理 ② 進路希望の具体化と、目的や目標を明確にした現場実習への取組 ③ 実習評価を有効に活用した適切な自己分析、自己理解 ④ 自己分析に基づく将来設計と、在学中の目標達成に向けた継続的な実践 (2) <u>困難な状況にも適切に対処する気持ちと力を身に付ける</u> 。 ① 自ら考えて判断するための知識習得と実際の経験の積み重ね

★本計画は、あくまでも現時点での計画であり、これからも実践を経て改善されていくものだと考えています。